

# 学校だより

# しらかわ



飯豊町立添川小学校  
2022. 3. 17

いきいき なかよく ほこりを持って 第23号

## 6年生のみなさん ご卒業おめでとう

6年生のみなさん。いつも人に対する優しさに溢れた、素晴らしい卒業生です。明日は、自信を持って堂々と卒業証書を受け取ってほしいと思います。

明日の卒業証書授与式は、学校だより第22号に記載したとおり実施できそうです。ICTを活用した動画での「よろこびの言葉」、6年生のメッセージとハンドベル、卒業生らしい態度と所作での卒業証書授与。ただ、本来のかたちでの卒業式には少し及ばないかもしれません。よろこびの言葉や合唱で、卒業生、在校生、教職員が熱く心を込めた臨場感は特に。しかし、先週から今週の「よろこびの言葉」の収録は卒業式の「本番」そのものです。さらに、本校では、「卒業式練習」も全て「本番」と考え、温かさと緊張感の中で取り組んできました。そして、明日の卒業証書授与式を迎えます。6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。最高の卒業式にしましょう！



3月9日(水)、「6年生を送る会」を行いました。5年生と4年生が中心になり、準備を進めてきました。万全の感染症対策として各教室Teamsでのオンラインで実施しました。

どちらが本物の6年生なのかを問う「6年生クイズ」。6年生からのメッセージ。在校生からの寄せ書きのプレゼント。サプライズで在校生の雪アート(グラウンドを歩いて「I♡6ねん」を描いた動画。前の週に子ども達がグラウンドを歩いて撮影したそうです)。そして、6年生からはたくさんの雑巾のプレゼントをいただきました。

オンラインだからこそできる工夫に職員も感心させられ、手作りで心のこもった本当に温かい会になりました。また、6年生の温かいメッセージと優しい表情も印象的でした。

こうして、添川小学校の「学校の機関車」は見事に引き継がれました。



「よろこびの言葉」の収録

「6年生を送る会」に取り組む5年生

「6年生を送る会」を見る6年生

# 今日は修了式 全員の進級・卒業おめでとう

今日は修了式。6年生の卒業と1～5年生の進級を認める修了証を授与しました。

6年間皆出席は菊地圭佑くん。親子でのたゆまぬ努力の賜物、本当に素晴らしいことです。

1年間皆出席は全校で42名、たいへん素晴らしいと思います。昨日現在(3/16)、今年度の全員登校日は121日を数え、それに「出席停止」を加えると153日になります。これは、昨年度より大きく向上しました。子ども達の健康管理、学習の準備と励ましなど、保護者の皆様のお力添えの賜物です。

今年度の運動面・文化面の入賞は、これまで学校だよりで紹介してきたとおりです。それ以外にも、県レベル以上の入賞、スキーや空手等において素晴らしい成績を収めた子もおり、校長からの賞詞として全校生にお話ししました。さらに、6年生の中には、一年間の読書が2万5千ページを超えた子、一年間の自主学習がノートで50冊に達した子もおり、その努力にはとても感心させられました。

学校全体で見れば、地域との協働を含めた緑の少年団の活動等の充実、タブレットを活用した学習と家庭学習、「学年カリキュラムマップ」「とも学び」に成果の表れた授業づくり、質の高い児童会活動(きらり委員会、さわやか委員会)等、これらが一年を振り返っての大きな成果といえると思います。

添川小学校児童、全学年の教育課程の修了、6年生のご卒業、おめでとうございます。

(修了式での児童代表のことばより)

## 充実した1年間

5年 横澤 遥彦

この1年間をじっくり振り返ってみました。そこで感じたことは、5年生は今までで一番忙しかつたけれど、充実した時間だったと思います。その中でぼくが力を入れたことが4つあります。

1つ目は、総合の学習で取り組んだ米作り体験です。田植えはどろどろになりましたが、手植えの大変さを実感しました。初めてやったもみすりは、力を入れ過ぎても入れな過ぎてもダメなので、微妙な力加減が必要でした。苦勞して収穫したもち米で作ったおこわが、今まで食べたものよりおいしく感じられました。

次に、学習面です。今年から始まった「すららドリル」に熱心に取り組んだので、総合時間が30時間近くまでいきました。毎日、少しずつ進め、続けることの大切さを学びました。

3つ目は、運動面です。ぼくは運動全般が、大得意というわけではありません。特に苦手なものが水泳と走ることです。水泳は50メートル泳ぐことができるかできないかのぎりぎりのところだったので、休みの日にプールに行って練習しました。息継ぎの仕方がカギになります。速く泳ぐのではなく、息継ぎのスムーズな方法を確認しながら練習しました。その成果がでたのか、本番では50メートル泳ぎ切ることができました。また、朝マラソンにも力を入れました。毎日必ず7周以上走ることを目標にしていました。一人で走っていたら途中でやめていたかもしれませんが、同じ目標をもっていた友達と声を掛け合って走りました。持久力と体力がだいぶついたと思います。

最後は、6年生を送る会に力を入れました。コロナ禍でもできることを何度も話し合い、本当にできるかどうか試してみたり、相談したりしました。みんなが一番に考えていたことは、「6年生に楽しんでもらうこと、感謝の気持ちを伝えること」です。この気持ちを全校生で伝えられるように、5年生が中心になってやらなければいけないという使命感がありました。初めてのことばかりで大変なことがたくさんありましたが、一つ一つの努力が送る会の成功につながったと思います。

そして、4月からは最高学年になります。6年生が今まで添川小学校の機関車として引っ張ってくださったことのバトンを受け継いでいけるように、下学年のお手本となれるように自分を磨いていきたいです。4月には添川小学校の6年生ですと自信をもって言えるように、努力していきます。

整った文章の中で、この1年間のがんばりをしっかり振り返ることができており、確実に今後につながると思います。「学校の機関車」としての自覚が育ち、心の成長が感じられます。素晴らしい!